



社会福祉法人 東京援護協会 いずみの苑

いずみだより

第9号

令和5年1月25日

発行:いずみの苑施設長矢嶋吉雄

編集:広報委員会

あけましておめでとございます



今年の干支は卯です。うさぎは飛び跳ねる姿から「飛躍」、子たくさんことから「豊穰、子孫繁栄」を象徴するものと言われています。この3年間は、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で制約の多い生活を強いられてきましたが、本年はコロナとの共存を図りながらも、新たな飛躍と繁栄の年となることを心から願っています。

いずみの苑では、地域とともにもある福祉施設として、地域とのつながりを大切に、多くの皆さんのお役に立てる施設運営を目指して努力を重ねてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

施設長 矢嶋 吉雄



新たな年を迎えました。新型コロナウイルスの感染が世界的に続いている中、ご利用者の安全を守ることを最優先に事業運営を続けているところです。適切な感染対策を図りながら、今年は最大限の工夫を凝らし、ご利用者の満足度を上げる取り組みや活動を一方で展開していきます。また、4月から施設が完全民営化されます。事業の自由度も広がります。地域から頼りにされる開かれた施設づくりを職員一同さらに進めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

いずみの苑 次長 橋本賢一



地域交流活動

いずみの苑では、小学校への車椅子体験講座や中学校での認知症サポーター講座の開催等、地域の方々との交流に取り組んでいます。

車椅子体験



認知症サポーター養成講座

車椅子の使い方や認知症の方との関わり方について学びました。



編集後記

まだまだ寒い日が続き、コロナウイルスとインフルエンザの同時流行も懸念されている状況です。引き続き感染対策を意識しながら、健康管理に気を付けていきましょう。今年もいずみだよりでは、施設での取り組みや活動を皆様へお伝えしていきたいと思えます。本年もよろしくお願いいたします。(都筑)

いずみの苑広報委員会

渡邊恵美

岡部秀輝

田中みどり

山崎征記

落合千佳

都筑まさみ